

平成 24 年度に取り組んだ主な事業

表 1 (単位：千円)

自治体クラウドシステム構築事業	56,648
ゲルマニウム分析装置整備事業	21,031
自給飼料生産農地再生事業(反転耕など)	78,243
損壊家屋解体撤去事業	154,582
被災住宅修繕工事費助成事業	45,147
消防施設整備事業	14,956
小野中学校改築事業	22,369
町道百目木・堀切線整備事業	51,111
旧日本たばこ産業(株)跡地内倉庫解体事業	35,554

町民一人当たりの町税負担額

表 2 (単位：円)

町 民 税	34,321
固 定 資 産 税	36,595
軽自動車税	2,376
町たばこ税	8,232
計	81,524

町民一人当たりの歳出内訳

表 3 (単位：円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産費	商工費
7,543	52,194	102,468	63,975	82	17,149	2,993
						
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	合 計
24,039	32,057	42,000	19,487	42,768	65,840	472,595
					 基金積立	

健全化判断比率の公表

健全化判断比率、資金不足比率とも国の基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

表 4：健全化判断比率 (単位：%)

項目	説明	小野町	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する割合です。	—	15.0	20.0
②連結実質赤字比率	全会計の実質的な赤字の標準財政規模に対する割合です。	—	20.0	30.0
③実質公債費比率	一般会計などが実質的に負担する公債費の標準財政規模に対する割合です。	9.5	25.0	35.0
④将来負担比率	地方債の残高を始め、一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合です。	—	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため「—」で表示しています。
 ※将来負担比率は、充て可能財源が将来負担額を上回るため「—」で表示しています。

特別会計の決算

表 5：資金不足比率 (単位：%)

項目	説明	小野町	経営健全化基準
水道事業会計	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合です。	—	20.0
浄化槽整備推進事業特別会計		—	20.0

※資金不足額がないため「—」で表示しています。

表 6 (単位：千円)

会計名	収入済額	支出済額	差引
国民健康保険特別会計	1,384,127	1,315,256	68,871
後期高齢者医療特別会計	99,565	99,506	59
除染対策事業特別会計	31,482	31,482	0
介護保険特別会計	1,034,837	1,002,338	32,499
介護保険サービス事業特別会計	3,284	3,284	0
浄化槽整備推進事業特別会計	78,219	66,145	12,074
文化・体育振興基金特別会計	4,193	3,855	338
水道事業会計(収益的収入)	150,550	135,789	14,761
水道事業会計(資本的収入)	8,745	102,485	▲93,740